



八雲

学校だより9月号

令和8年 9月 1日

目黒区立八雲小学校

時間を大切にすること、基礎を大切にすること

校長 藤井 良江

夏休みに入る前、全校に、次のような話をしました。

「自分で自由に使える時間が増える長い休みの時間を、自分の好きなことに使う一方で、家族や周りの人のためにも少し使ってみよう」

「やりたいことだけでなく、やらなければならないこともやるために、自分で考えて時間を使おう」などです。それぞれに、思い思いの時間が過ごせたでしょうか。

今日は、大きな事故や怪我なく、元気な顔を見せてくれた、夏休み明け初日でしたが、中には、時間のサイクルが戻るまで時間がかかったり、久しぶりの登校に不安をもったりする子いるかもしれません。特にここ数日は、気をつけて、一人一人との対話や表情に目を向けていきたいと思っています。



さて、ひと夏を越え、学習面でも生活面でもさらに大きく成長する時期に入ります。知りたいことをすぐに調べることができる便利な時代だからこそ、この時期に定着を図りたいのが「基礎的な力」です。

漢字を読む力や書く力、文章を理解する力、計算する力、人の話をしっかり聞く力などは、まるで家を支える土台のようなものです。スポーツや楽器の練習も同じで、日々の繰り返しによって、その力が育まれます。特別なことをしなくても、土台がしっかりしていれば、新しいことを学ぶときにも力を発揮することができます。

そこで、今朝も改めて「自分の時間をどのようなことにどのように使っているか考えることやその使い方で未来の自分が大きく変わる可能性があること」など伝えたとこです。子どもたちが時間を大切に使いながら、実り多い一日一日を過ごせるよう、教職員一同支援してまいります。前期後半もよろしくお願いいたします。

防災学習について

本校では、東京都の「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」を活用し、7月に防災教育の授業を行いました。災害を“自分のこと”として考えられるよう、普段とは異なる場面を想像しながら学習を進めました。

子どもたちは、
・夜に災害が起こったらどう感じるか
・ペットと一緒に避難するには何が必要か
・目が見えない人はどのように避難するのか
といった、立場や状況によって必要な備えが変わることに気づき、自分の生活に置き換えて防災を考える姿が見られました。

後半のワークでは、自分だったらどんなものを防災バッグに入れたいかを考えました。災害時に、自分に必要な物や行動を想像しながら、子どもたちが自分なりの防災のあり方を見つめる大切な時間となりました。

今日は9月1日、防災の日です。ご家庭でも、非常時の集合場所や持ち出し品の確認など、ぜひ、お子さんと見直してみてください。



月目標「きまりよい生活をしよう」

学校生活では、一人ひとりがきまりを守ること、誰もが安心して学び、過ごすことができます。石も削り磨かれることで美しい彫刻となるように、人も日々の積み重ねの中で礼儀や思いやり、自律する心を育み、人としての品格を高めていきます。集団生活では、自分の思いどおりにならず我慢する場面もありますが、その経験が大きな成長につながります。学校は、家庭とは異なる学びの場です。ご家庭でも、「きまりを守ることの大切さ」について、話題にいただければ幸いです。

秋の交通安全

日が長い時期が続く、放課後に外で過ごす時間も増えます。自転車を利用する際は、交通ルールを守り、安全な乗り方を心掛けることが大切です。被害者だけではなく加害者にならないためにも、日頃から正しいルールを身に付けることが重要です。また、ヘルメットの着用は頭部を守る有効な手段ですので、ご家庭でも着用へのご協力をお願いします。夕方から夜にかけては交通事故や犯罪に巻き込まれる危険も高まります。明るい時間が続く時期だからこそ、帰宅時刻を守り、夜遅くまで出歩かないよう、お声掛けください。